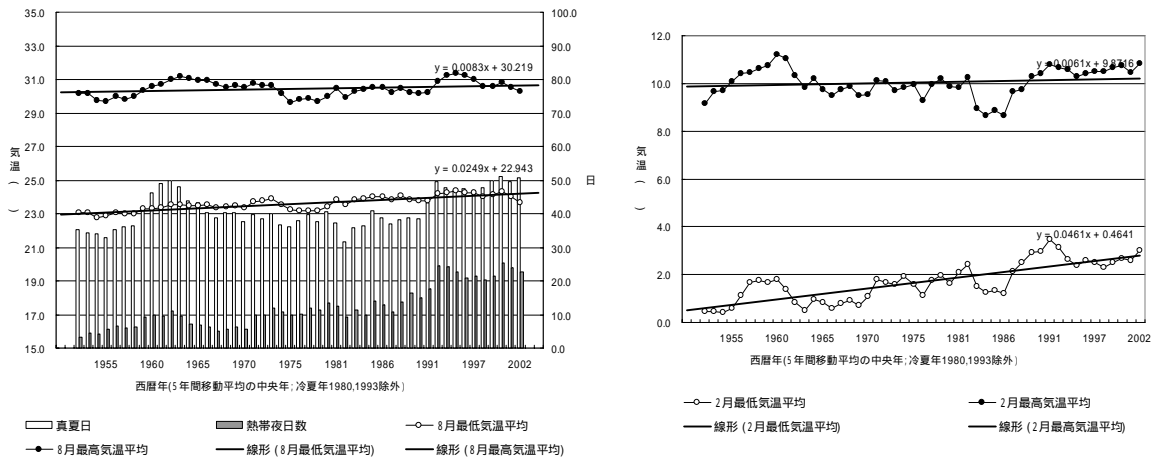


横浜市 (気温上昇類型：第1カテゴリー)

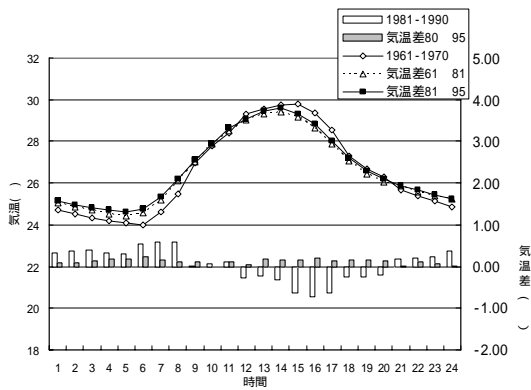
基本情報

位置(气象台)	北緯 35°26.3	東経 139°39.1	標高 39m	海岸距離 北東 0.7km
都市規模 (2000年国勢 調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km ²)	D I D面積(km ²)
	3,426,651	3,338,859	437.12	345.01
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km ²)	人口密度(人/km ²)
	97.4	78.9	9,677.6	7839.2
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	30.	23.7	9.9	2.1
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	15.5	3.4	1920.6	1622.5

気温経年変化

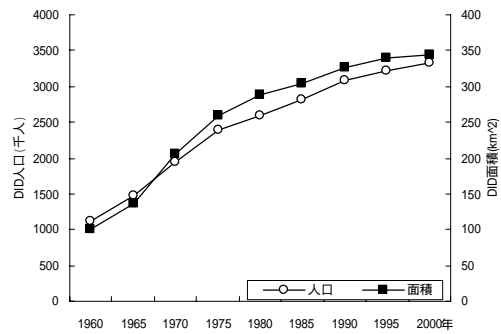


時間気温の変化



市街地規模の変化

(DID人口・面積)



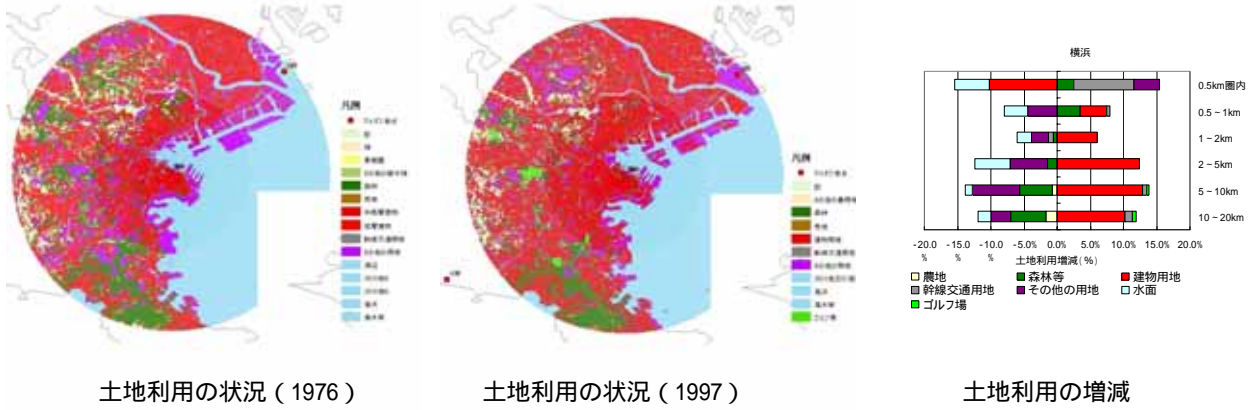
摘要

気温の経年変化をみると、2月、8月ともに最低気温の上昇が最高気温の上昇よりも大きくなっており、真夏日に比べて熱帯夜日数の増加が大きくなっている。時刻別気温では、夜間の気温上昇がみられている。昼間の時刻についてほとんど変化していない。高温化の範囲をみると、夏季の最低気温では横浜は0.6 上昇しているが、周辺も同様の上昇がみられる。冬季の最低気温は2.6 上昇している。府中、海老名の上昇は小さいのに対し、三浦、木更津の沿岸部は横浜と同程度の上昇がみられる。

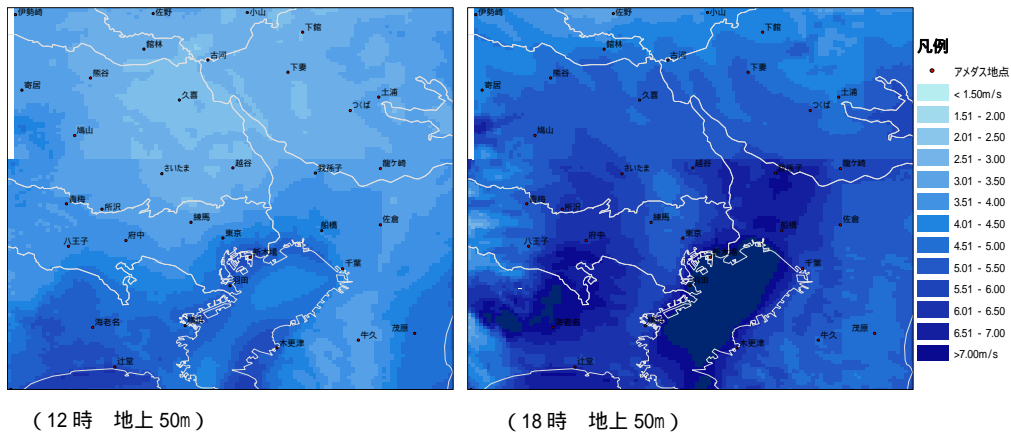
市域の8割がDID地区であり、人口のほとんどが居住している。DID地区の人口と面積はほぼ同様の傾きで増加しており、1990年以降伸びはやや鈍化している。1976年以降の土地利用の変化をみると、0.5km圏内では水面、建物用地が幹線交通用地等へ変化している。0.5km圏外はその他の用地、森林等が建物用地へ変化している。

風の状況を見ると、昼間(12時)は臨海部の風がやや強く、内陸部にいくにしたがって弱風化している。夕方(18時)は昼間に比べて全体的に風速が増加している。主風向は昼間も夕方も南風である。

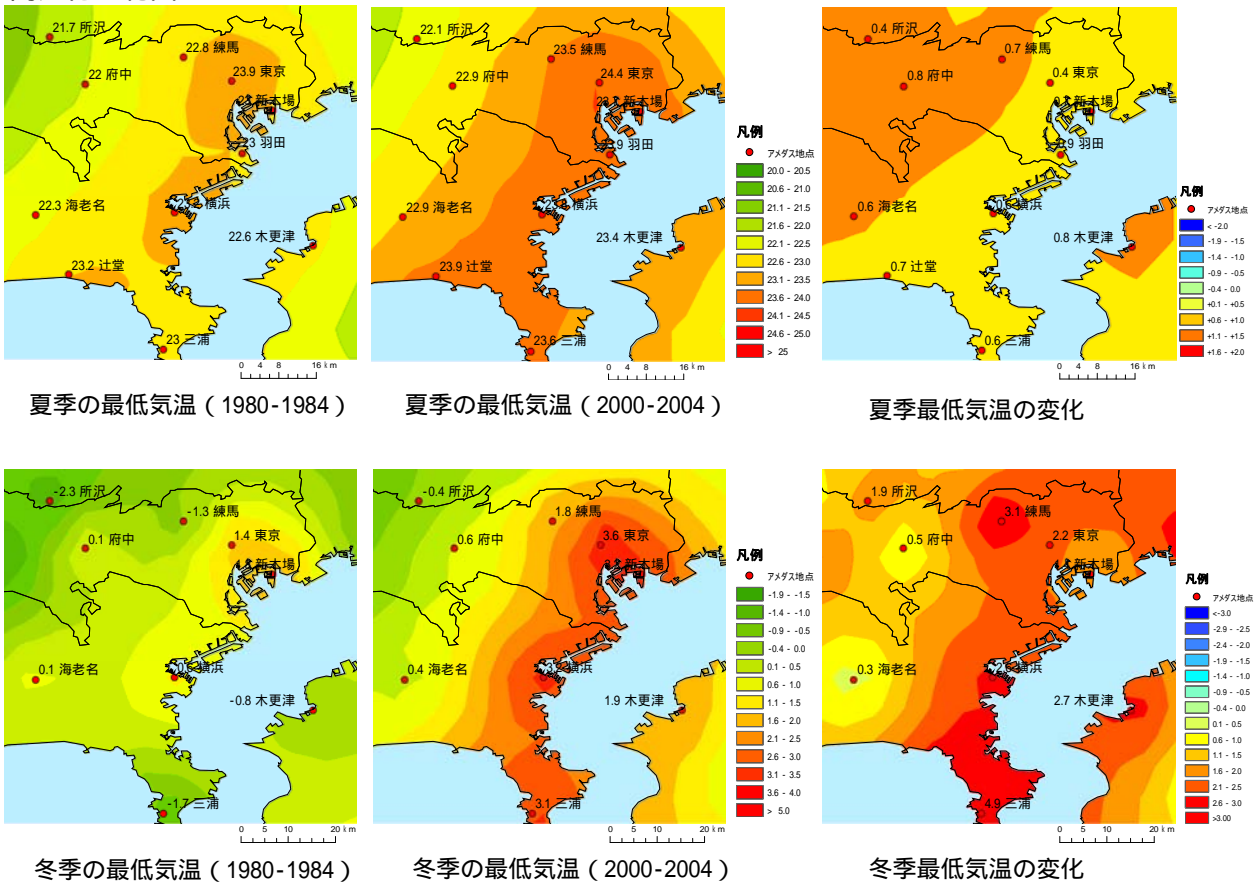
土地利用の変化 (20km 圏)



風環境の状況 (夏季)



高温化の範囲

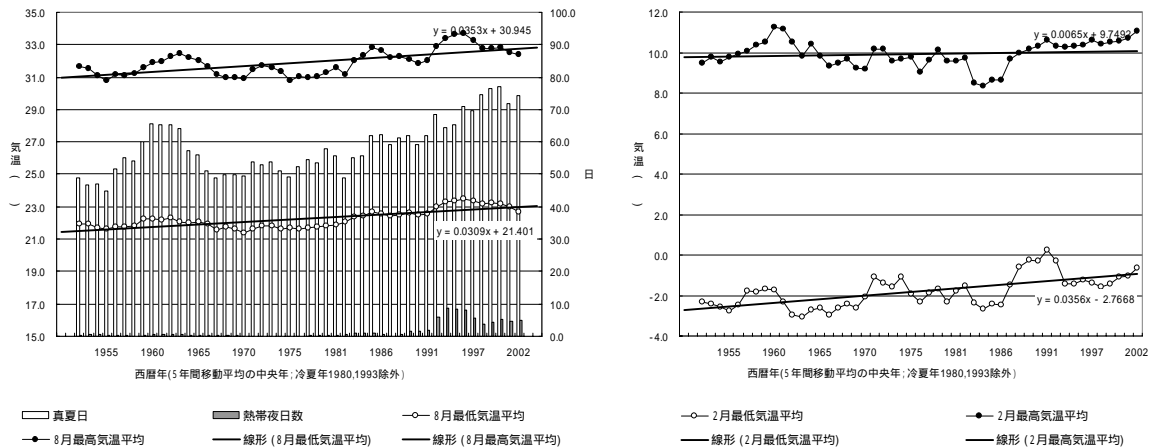


甲府市 (気温上昇類型：第2 カテゴリー)

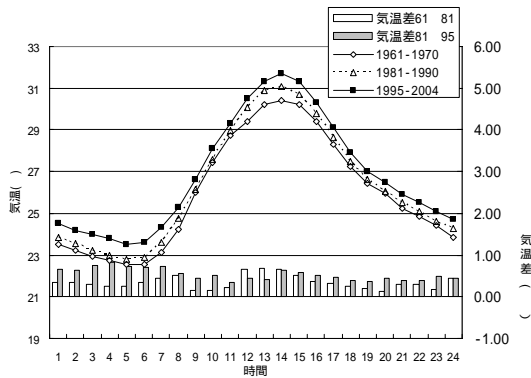
基本情報

位置(気象台)	北緯 35°40.0	東経 138°33.2	標高 237m	海岸距離 南 62km
都市規模 (2000年国勢調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km ²)	D I D面積(km ²)
	196,154	168,833	171.88	31.82
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km ²)	人口密度(人/km ²)
	86.1	18.5	5,305.9	1141.2
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	32.0	22.4	9.8	-1.6
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	14.3	2.2	2128.7	1109.7

気温経年変化

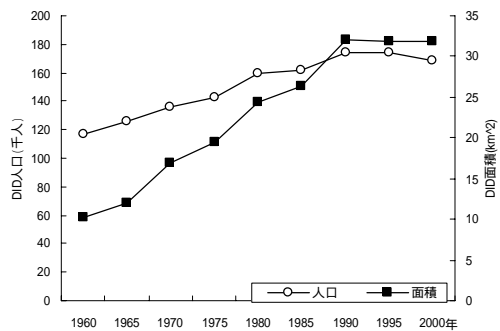


時間気温の変化



市街地規模の変化

(DID人口・面積)



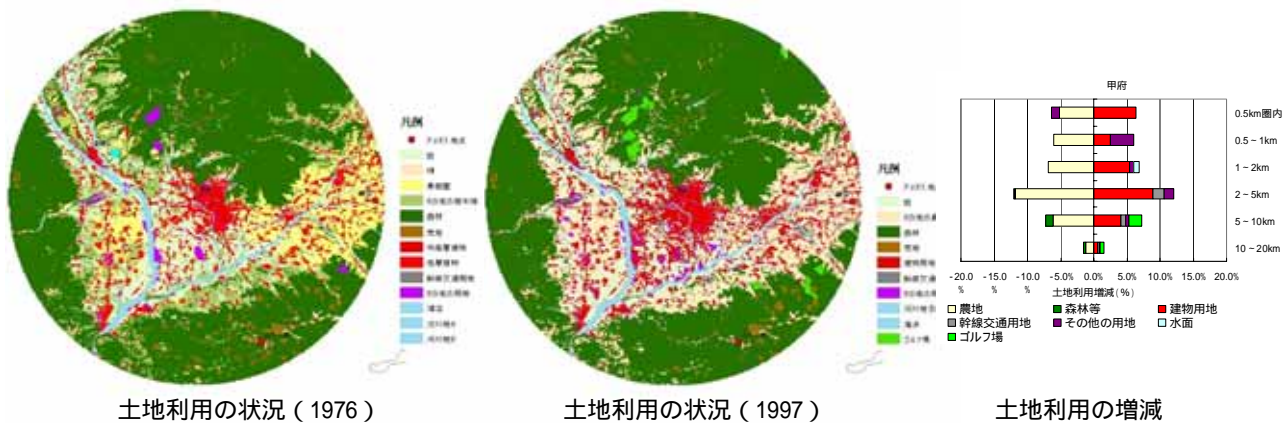
摘要

気温の経年変化をみると、2月、8月の最高・最低気温のすべてが上昇傾向にある。特に8月の最高気温と、2月の最低気温の上昇が顕著である。熱帯夜は継続的に増加しており、最近では年間70日以上となっている。また、90年代から熱帯夜が出現してきている。時刻別気温はすべての時刻で気温上昇がみられ、特に最低気温となる4～6時と、最高気温となる12～15時の気温上昇が大きくなっている。高温化の範囲をみると甲府、勝沼の温度が周辺に比べて高くなっている。夏季の最低気温の変化をみると甲府で0.7の上昇がみられるがその他の地点と大きな差はない。冬の最低気温の変化をみると、甲府では2.4の上昇がみられる。他には切石、勝沼等で2以上の上昇がみられる。

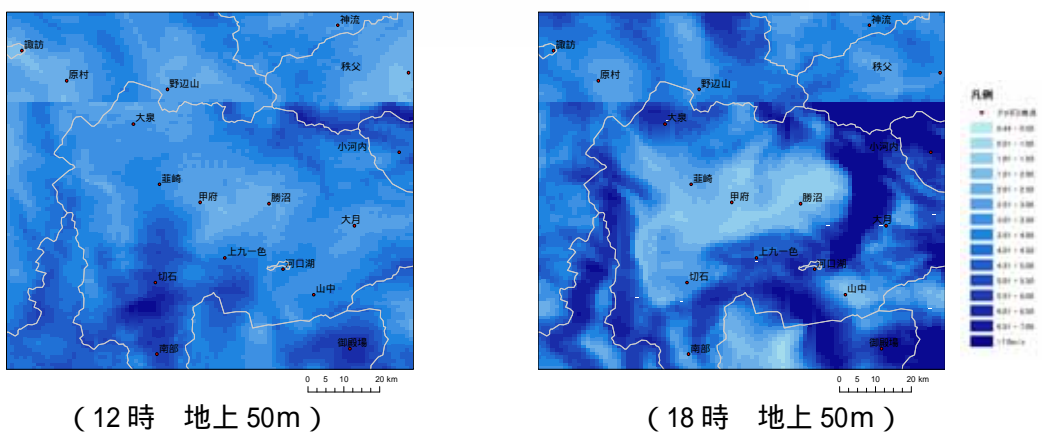
人口の9割近くが、市域の約2割の面積のDID地区内に集中している。DID地区の人口、面積の伸びは90年以降鈍化し、ほぼ横ばいとなっている。1976年以降の土地利用の変化をみると、農地が建物用地に変化している状況が確認できる。特に周辺2～5km圏内での変化が大きくなっている。

風の状況についてみると、昼間(12時)は全般的に風が弱く、夕方(18時)は山間部で風速が強く、甲府、勝沼、韮崎といった盆地部分は弱風となっている。風向は南からの風が地形により複雑に変化している。

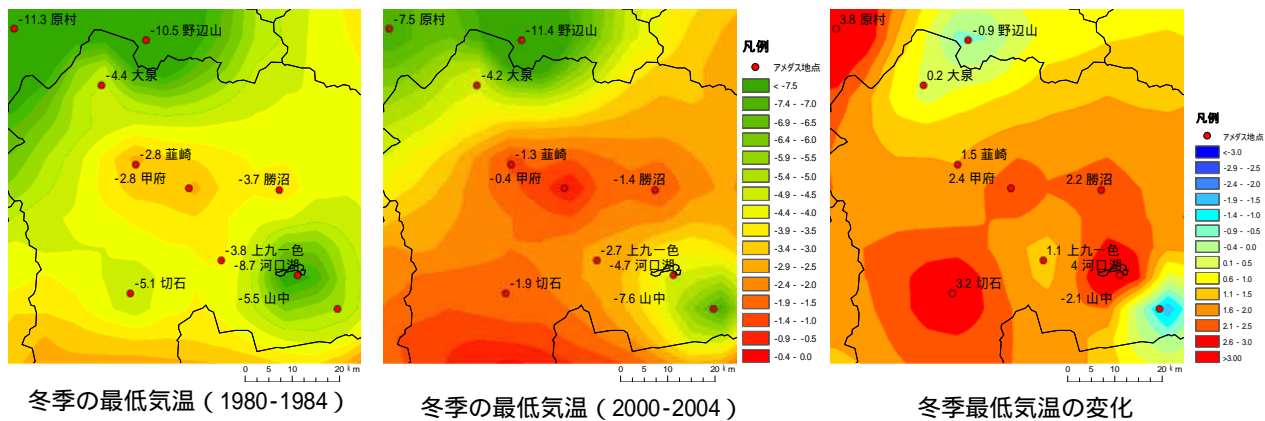
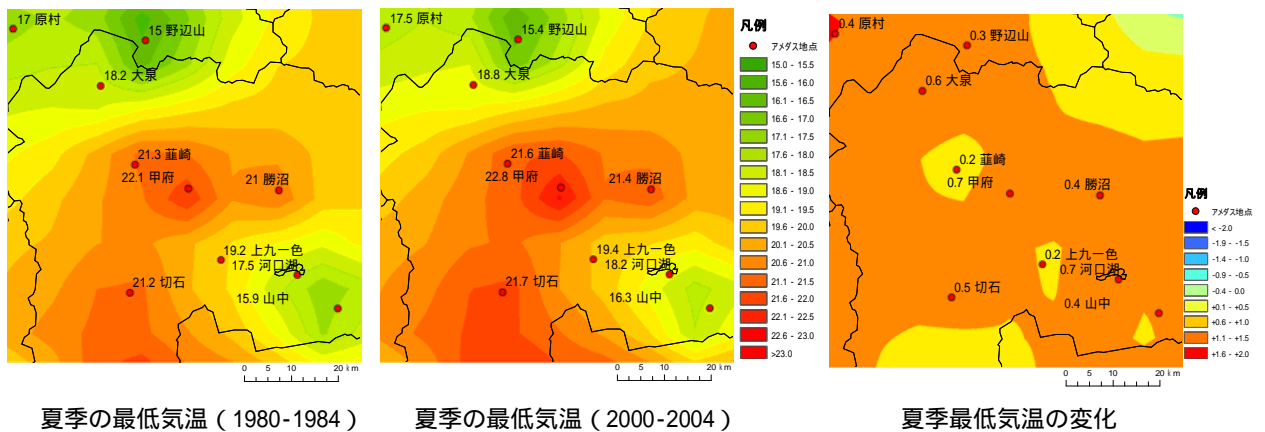
土地利用の変化 (20km 圏)



風環境の状況 (夏季)



高温化の範囲

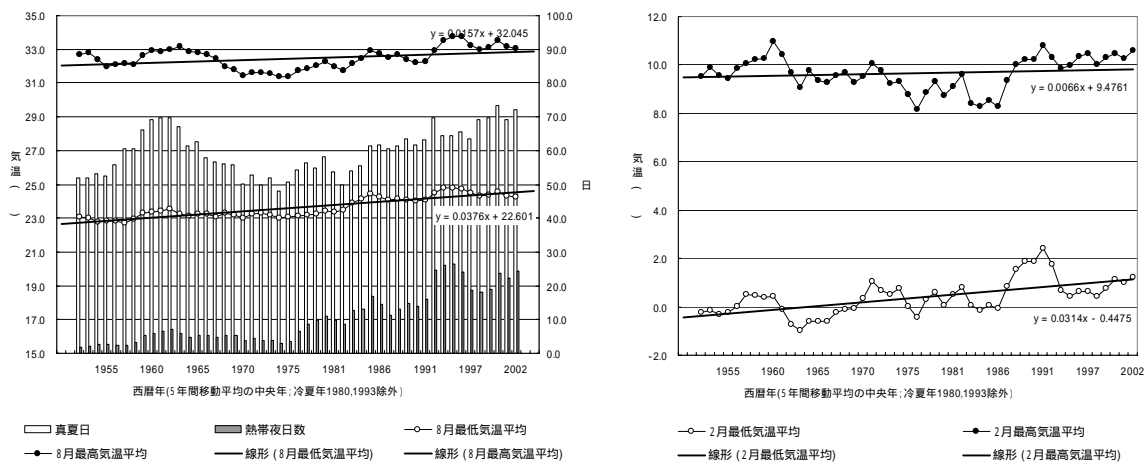


名古屋市 (気温上昇類型：第4カテゴリー)

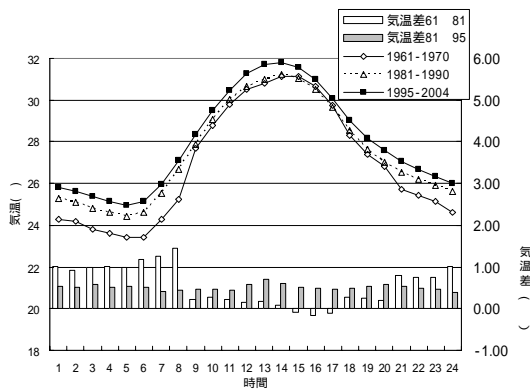
基本情報

位置(気象台)	北緯 35°10.0	東経 136°57.9	標高 51m	海岸距離 南 11.4km
都市規模 (2000年国勢調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km ²)	D I D面積(km ²)
	2,171,557	2,119,714	326.45	274.06
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km ²)	人口密度(人/km ²)
	97.6	84.0	7,734.5	6652.0
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	32.2	23.8	9.5	0.6
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	15.4	2.9	2053.4	1564.4

気温経年変化

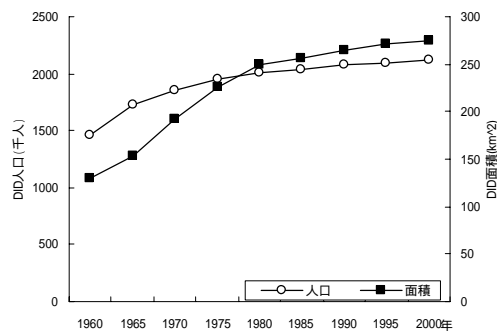


時間気温の変化



市街地規模の変化

(DID人口・面積)



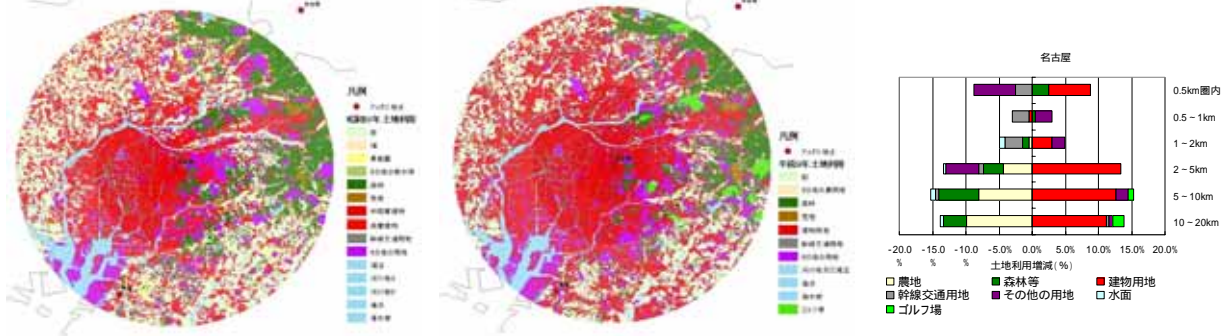
摘要

気温の経年変化をみると、2月、8月の最高・最低気温のすべてが上昇傾向にあり、最低気温が最高気温に比べて上昇傾向が強くなっている。1970年代以降、熱帯夜が急増しており、90年代以降は年間20日以上の日数がある。高温化の範囲をみると、夏季の最低気温では名古屋、東海、桑名等の沿岸部と岐阜、大垣の気温が高くなっている。20年間に名古屋では0.8上昇しているが、周辺もほぼ同様の上昇がみられる。冬季の最低気温の20年の変化をみると、名古屋以北で2以上の上昇がみられる。

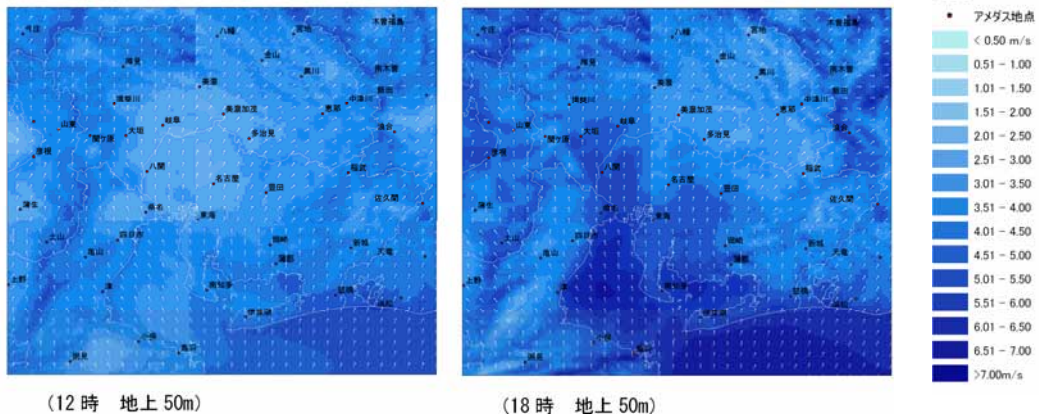
市域の80%以上がDID区域となっており、人口のほとんどが集中している。人口密度も高く、全市で約6700人/km²、DID区域で約7700人/km²となっている。気温観測地点周辺の1976年以降の土地利用をみると0.5km圏では、その他の用地等が建物用地へ変化している。2km以遠になると、農地や森林等が減少し、建物用地が増加している状況が見られる。

風の状況を見ると、昼間(12時)は伊勢湾も含めて風が弱い状況である。夕方(18時)になると伊勢湾内の風が強くなり、湾岸部の風速もやや強くなっている。主風向は南風となっている。

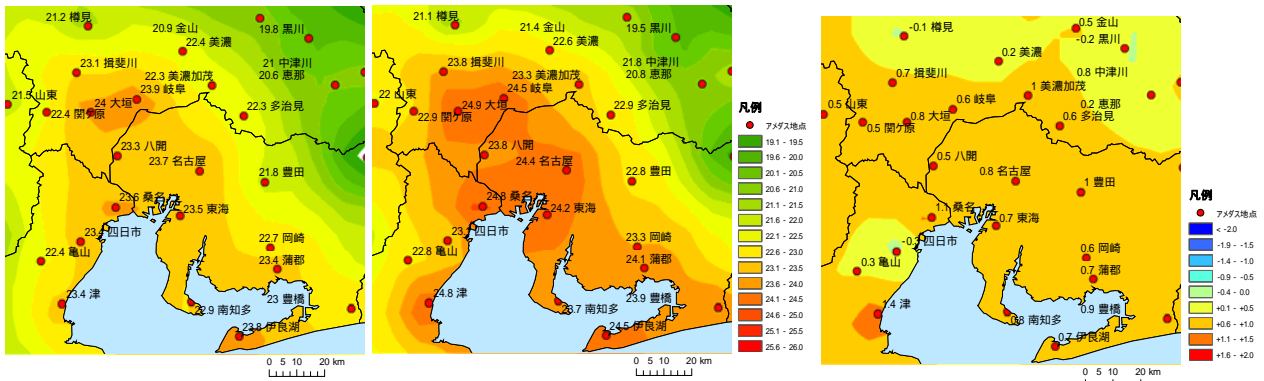
土地利用の変化 (20km 圏)



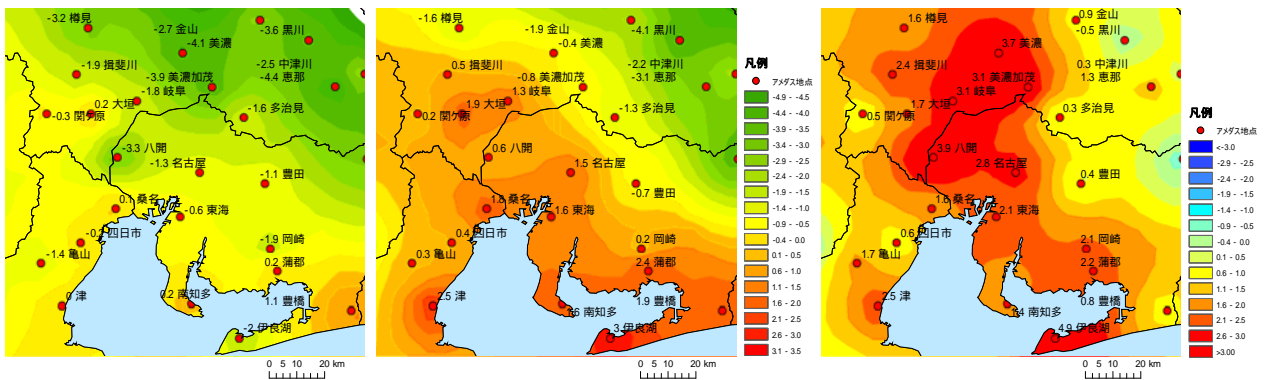
風環境の状況 (夏季)



高温化の範囲



冬季の最低気温 (1980-1984)

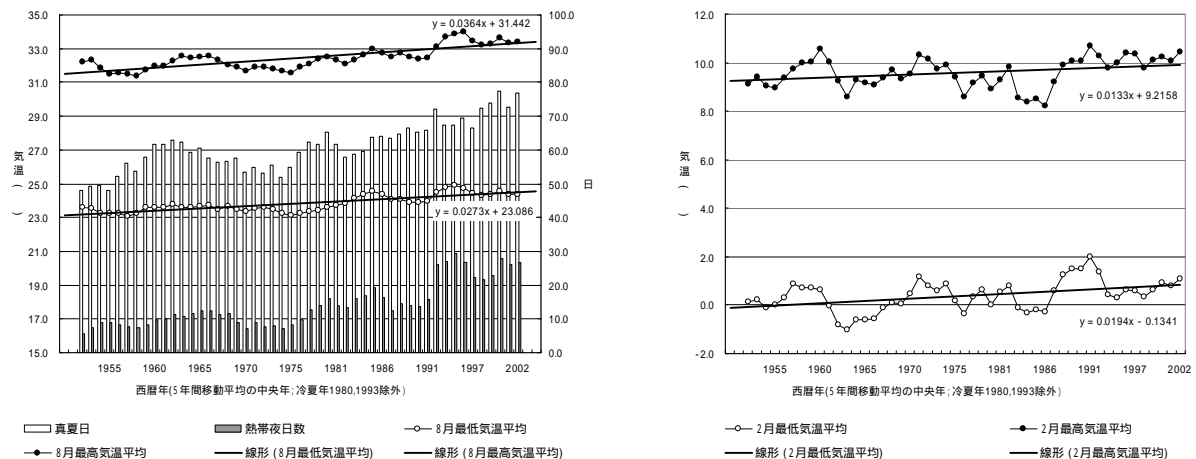


岐阜市 (気温上昇類型：第2カテゴリー)

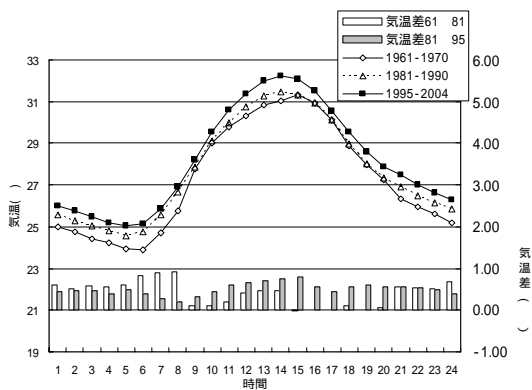
基本情報

位置(気象台)	北緯 35°24.0	東経 136°45.7	標高 13m	海岸距離 南 43km
都市規模 (2000年国勢 調査)	人口(人)	D I D人口(人)	面積(km ²)	D I D面積(km ²)
	402,751	295,176	195.12	53.15
	DID人口率(%)	DID面積率(%)	DID人口密度(人/km ²)	人口密度(人/km ²)
	73.3	27.2	5,553.6	2064.12
気候 (平年値)	8月最高気温	8月最低気温	2月最高気温	2月最低気温
	32.4	9.5	23.9	0.5
	年平均気温	年平均風速	年間日照時間	年間降水量
	15.5	2.4	2085.8	1915.3

気温経年変化

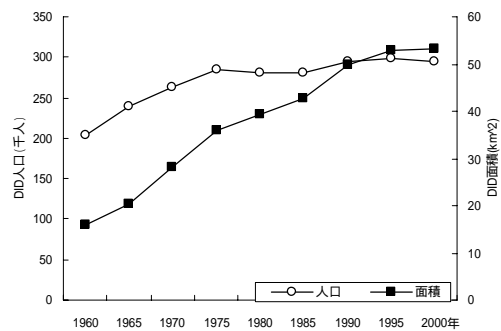


時間気温の変化



市街地規模の変化

(DID人口・面積)



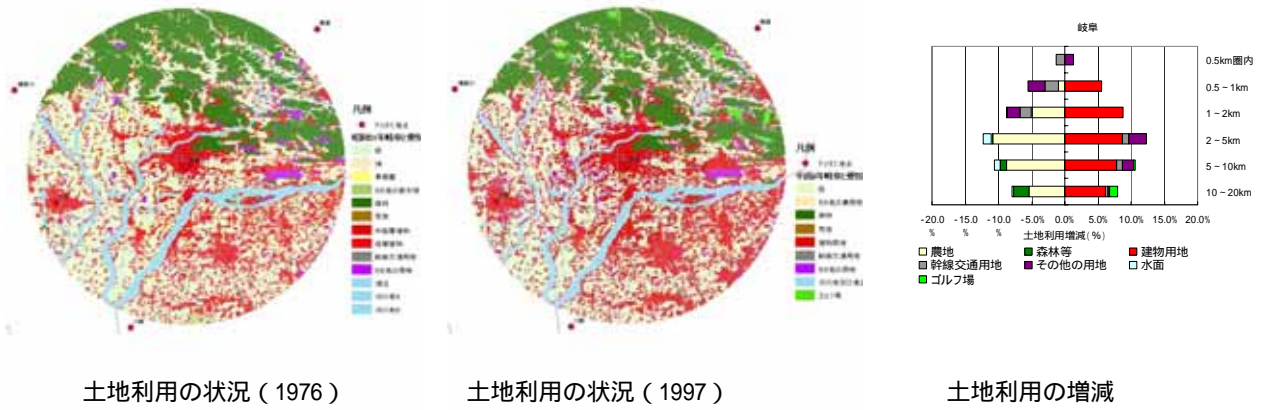
摘要

気温の経年変化をみると、2月、8月の最高・最低気温の上昇傾向が上昇している。特に8月の最高気温の上昇の傾きが大きくなっている。真夏日日数、熱帯夜日数の増加も続いており、最近では真夏日が年間70日以上、熱帯夜が年間20日以上出現している。時刻別気温もすべての時刻で上昇しており、最近では昼間の気温の上昇が目立っている。高温化の範囲をみると、夏季の最低気温では岐阜は20年間で0.8上昇しているが、周辺地点との大きな差はない。冬季の最低気温は岐阜において3.1上昇している。周辺をみると名古屋から美濃までの範囲で同様な上昇がみられる。

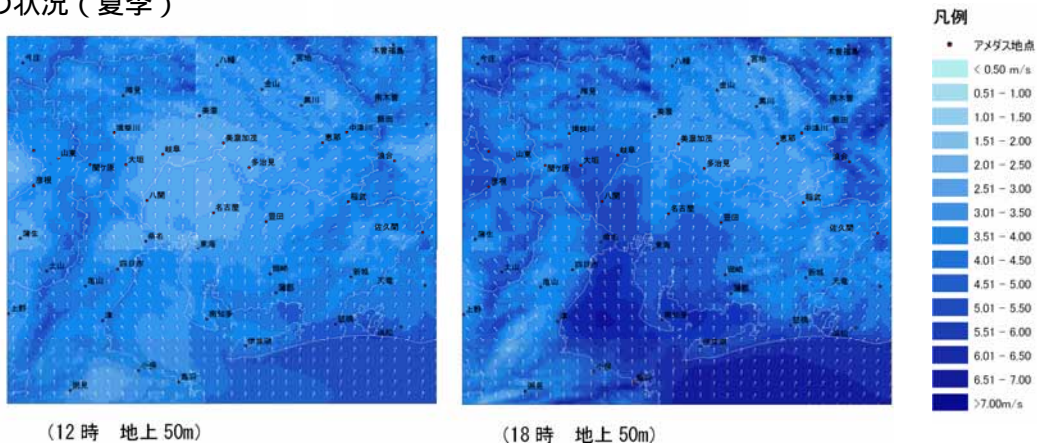
DID地区面積は増加が続いているが、DID人口の伸びは、1975年以降鈍っておりほぼ横ばい状況となっている。1976年以降の土地利用の変化をみると、0.5km圏では変化がほとんどみられないが、1km以遠になると主に農地が建物用地に変化している状況が見られる。

風の状況を見ると、昼間(12時)は非常に風が弱い状況である。夕方(18時)になると伊勢湾から風が強くなり、風速はやや強くなっている。主風向は南風となっている。

土地利用の変化 (20km 圏)



風環境の状況 (夏季)



高温化の範囲

